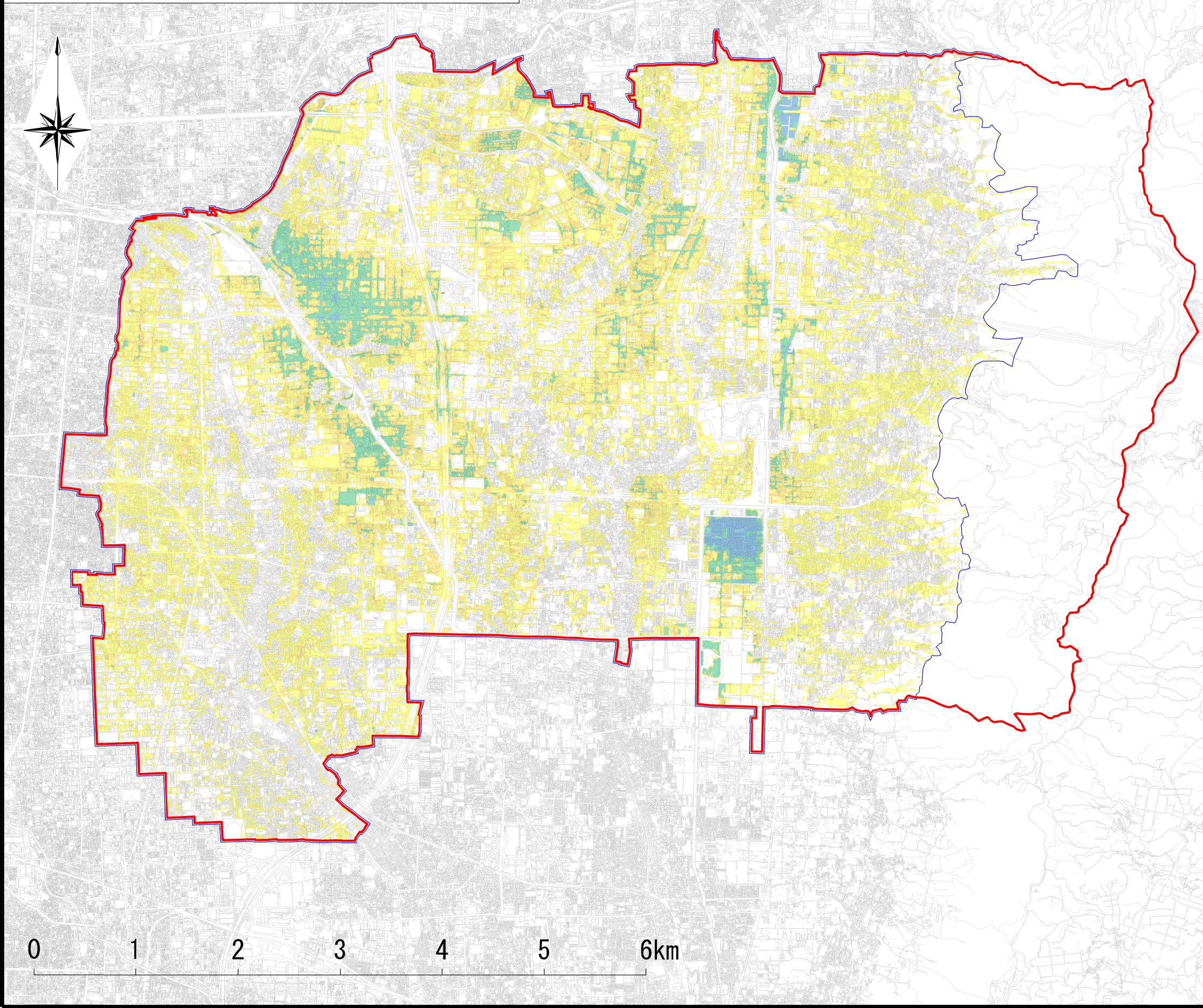


(住民用)
東大阪市 雨水出水浸水想定区域図（浸水深）
-東大阪市域のみを対象とした想定最大規模の短時間集中降雨-
～想定最大規模短時間降雨～



(1)説明文

①この図は、水防法の規定に基づき、東大阪市域のみを対象とした想定最大規模の短時間集中降雨（以下、想定最大規模短時間降雨）が東大阪市域に降った場合に、想定される浸水区域やその深さを示したものです。

②降雨範囲は東大阪市域のみを対象としています。

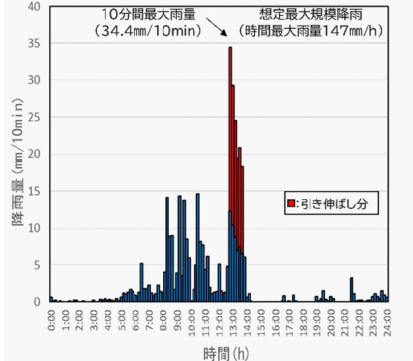
③この図は、東大阪市域の雨水排水施設の整備状況を勘案し、想定最大規模短時間降雨（下記（2）基本事項等）に伴う内水氾濫で想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

④シミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、外水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮しておらず、内水氾濫のみを考慮しております。

⑤内水氾濫に加えて外水氾濫も考慮した浸水深は「東大阪市ハザードマップ（洪水・土砂・ため池）」や東大阪市ハザードマップ 複数の降雨規模による氾濫を想定（想定最大規模を除く）」をご確認ください。

⑥この図に示す浸水区域やその深さは、シミュレーション結果の1つであり、雨の降り方により、浸水区域やその深さが異なります。

(2)基本事項等

作成主体	東大阪市
指定年月日	令和7年10月1日
指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
指定の前提となる降雨	東大阪市域のみを対象とした想定最大規模の短時間集中降雨 想定最大規模短時間降雨（時間最大雨量147mm/h、24時間最大総雨量390mm） 
浸水想定手法	浸水シミュレーション手法 （降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析）
境界条件	放流先河川の水位は、降雨開始時の平常水位を起点とし、降雨継続中の水位変動を想定し、得られた最高水位に設定しています。
その他計算条件等	対象区域を25mメッシュに分割し、メッシュ毎の浸水深を算出しています。下水道ポンプ運転調整を考慮しています。

(3)注意事項等

①実際の降雨では表示された浸水区域や浸水深、浸水継続時間と異なる場合があります。

②図で着色のない場所は、計算上では浸水しない場所ですが、現地状況や雨の降り方により、浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

③本市の下水道施設の整備目標として定めている計画降雨（10年に1回程度の頻度で発生する降雨）は1時間雨量約50mm程度です。対して、本市の想定最大規模短時間降雨（1000年に1回程度の頻度で発生する降雨）は、1時間雨量147mmが東大阪市域に降ることを想定しています。従って、想定最大規模短時間降雨は下水道の計画降雨を大幅に超えるものです。

(4)凡例

浸水した場合に想定される浸水深（ランク別）

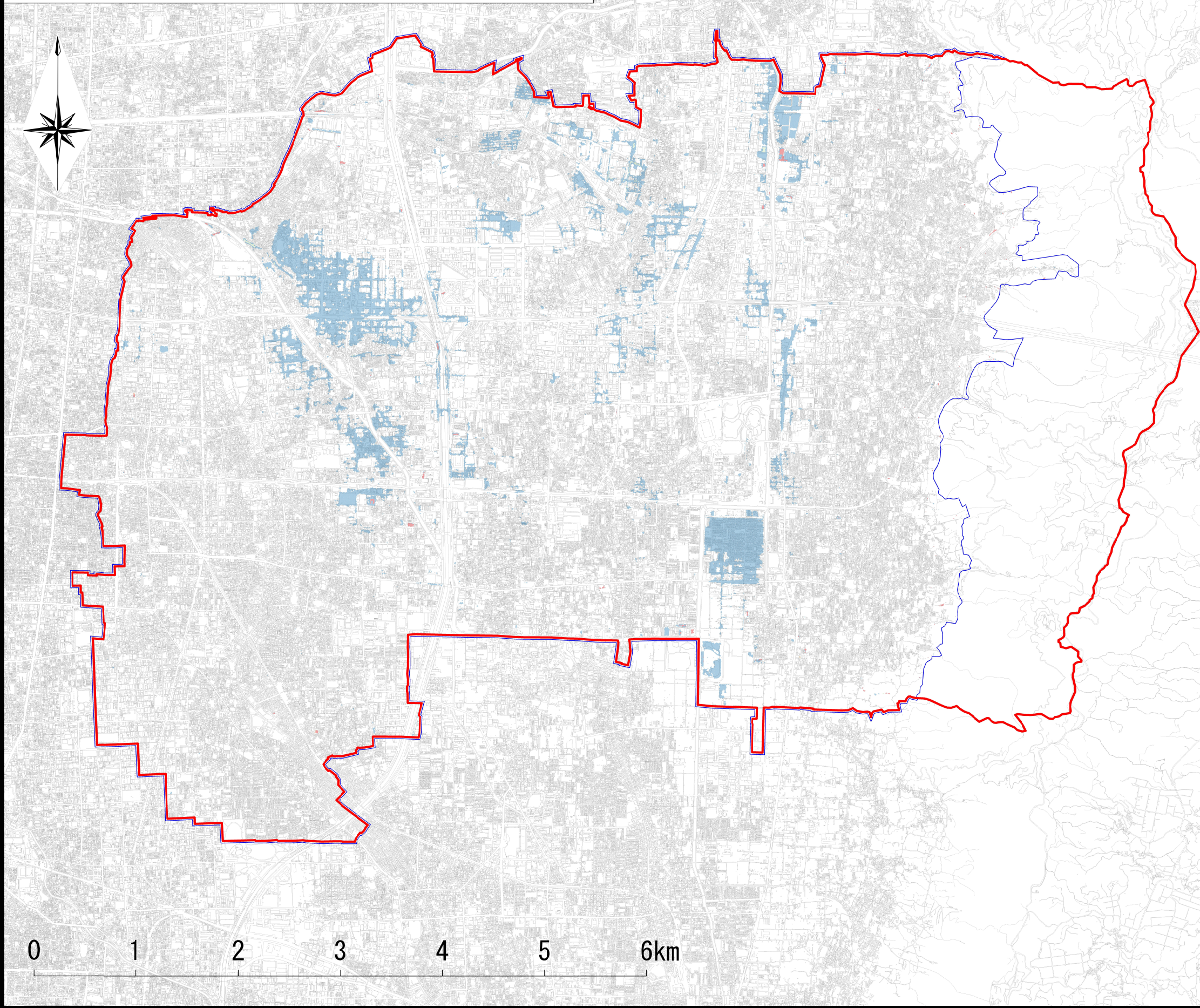
	2.0～3.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域
	東大阪市境界
	対象範囲

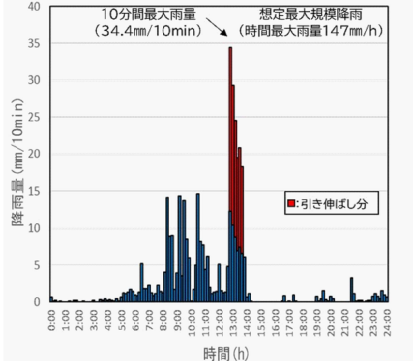
(5)問い合わせ先

東大阪市上下水道局 下水道部 計画課

東大阪市 雨水出水浸水想定区域図（浸水継続時間）

-東大阪市域のみを対象とした想定最大規模の短時間集中降雨-
～想定最大規模短時間降雨～



(1)説明文	
①この図は、水防法の規定に基づき、東大阪市域のみを対象とした想定最大規模の短時間集中降雨（以下、想定最大規模短時間降雨）が東大阪市域に降った場合に、想定される想定される0.5m以上の浸水が継続する時間を表したものです。	
②降雨範囲は東大阪市域のみを対象としています。	
③この図は、東大阪市域の雨水排水施設の整備状況を勘案し、想定最大規模短時間降雨（下記（2）基本事項等）に伴う内水氾濫で想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。	
④シミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、外水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮しておらず、内水氾濫のみを考慮しております。	
⑤内水氾濫に加えて外水氾濫も考慮した浸水深は「東大阪市ハザードマップ（洪水・土砂・ため池）」や東大阪市ハザードマップ 複数の降雨規模による氾濫を想定（想定最大規模を除く）」をご確認ください。	
⑥この図に示す浸水区域やその深さは、シミュレーション結果の1つであり、雨の降り方により、浸水区域やその深さが異なります。	
(2)基本事項等	
作成主体	東大阪市
指定年月日	令和7年10月1日
指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
指定の前提となる降雨	東大阪市域のみを対象とした想定最大規模の短時間集中降雨 想定最大規模短時間降雨（時間最大雨量147mm/h、24時間最大総雨量390mm） 
浸水想定手法	浸水シミュレーション手法 （降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析）
境界条件	放流先河川の水位は、降雨開始時の平常水位を起点とし、降雨継続中の水位変動を想定し、得られた最高水位に設定しています。
その他計算条件等	対象区域を25mメッシュに分割し、メッシュ毎の浸水深を算出しています。下水道ポンプ運転調整を考慮しています。
(3)注意事項等	
①実際の降雨では表示された浸水区域や浸水深、浸水継続時間と異なる場合があります。	
②図で着色のない場所は、計算上では浸水しない場所ですが、現地状況や雨の降り方により、浸水する可能性があります。浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。	
③本市の下水道施設の整備目標として定めている計画降雨（10年に1回程度の頻度で発生する降雨）は1時間雨量約50mm程度です。対して、本市の想定最大規模短時間降雨（1000年に1回程度の頻度で発生する降雨）は、1時間雨量147mmが東大阪市域に降ることを想定しています。従って、想定最大規模短時間降雨は下水道の計画降雨を大幅に超えるものです。	
(4)凡例	
浸水継続時間	
	72時間以上（3日間）以上の区域
	24時間～72時間（3日間）未満の区域
	12時間～24時間（1日間）未満の区域
	12時間未満の区域
	東大阪市境界
	対象範囲
(5)問い合わせ先	
東大阪市上下水道局 下水道部 計画課	